地域密着型設計演習プログラム

KYUSHU DESIGN CHARRETTE

OITA TSUKUMI

2024.8.27-8.30

シャレット（charrette）は仏語で「荷馬車」という意味です。
仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から
短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。

■プログラムの特徴

①合宿形式　設計演習は３泊４日、参加者のグループワークによって実施します。若手講師がチューターとして各班の相談や資料･模型の作り方などの技術的サポートを行います。このシャレットで出会った仲間はその後の人生において切磋琢磨できる貴重な存在になります。

②地域密着型　現在、津久見市では津久見駅自体の魅力を高めようと、地元高校生と連携した駅一階のリニューアルが企画され、さらに駅を中心としたまちの再生が目指されており、本演習はこうした状況を踏まえたより実践的な検討になります。津久見市と共催で実施する本演習は、高校生とのグループワークも予定しており、特に最終日の講評会には地域の方にも参加いただき、今後のまちづくりに参考にしていただく予定です。（なお、本演習は純粋な設計演習の場であり、ここでの成果について津久見市には一切の責任はありません）

③実務的な講師陣　各地のまちづくりプロジェクトに携わる風景デザイン研究会メンバーに加え、ランドスケープや建築分野、広場づくりなど、様々な活躍をされているゲスト講師を迎え、実践的な指導を行うメンバーを揃えております。

④初学者から経験者までを対象　設計演習は、プログラムに示す現地見学やレクチャー等から構成され、公共空間のデザインを考える際に必要な「コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼン」の基礎を体系的に学ぶことができます。講師やチューターが丁寧に指導しますので、初学者でも心配せずに受講を検討されてください。

過去の九州デザインシャレットの様子（現地調査・グループワーク）

九州デザインシャレット 2024 in 大分県津久見市　テーマ

「多世代の居場所となる駅前広場のデザイン」

津久見市は、大分県の南東部に位置する、豊後水道に面した海沿いの都市です。高齢化や中心市街地の空き家・空き地増加といった課題を抱える津久見市では、市中心部にある JR 津久見駅を対象に、地元の高校生と連携した駅自体の魅力を高める取り組みに着手しようとしています。また駅から約半径 1 ㎞以内を中心市街地と位置づけ、津久見駅周辺に「まちなかウォーカブル区域」を設定するなど、駅を中心としたまちの再生が目指されています。以上を踏まえ、今年度のシャレットでは、津久見駅の駅前広場を対象エリアとし、駅を利用する地元高校生等の意見も踏まえながら、多世代の居場所となる駅前広場のデザイン提案をグループワークで行います。

［開催期間］8/27（火）～ 8/30（金）
［演習会場］津久見市民会館（大分県津久見市津久見浦 3825-100）
［対象者］学生と社会人をあわせて 30 名程度
※40 歳程度以下＆プログラム全てに参加できる方
※定員を超える場合は参加者を選定させていただくことがあります
［講習費］学生 15,000 円、社会人 36,000 円
※飲食･宿泊代は含まれません。宿泊は各自での手配をお願いします
［募集期間］5/31（金）～ 6/28（金）17:00 まで
［**参加申込**］URL or QR コードからお申込みください
URL：https://forms.gle/sNRGQAEvbr39TZdaA
※氏名や所属他、志望動機（150 字程度）等についてご回答いただきます
※お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします
［問い合わせ］info@fukei-design.jp（担当：原田）
［**CPD**］**建設コンサルタンツ協会**：35.0 単位　**造園**：33.0 単位
［主催］風景デザイン研究会　［共催］津久見市　［協力］大分県立津久見高等学校

ゲスト講師

吉村 純一
プレイスメディア
ランドスケープアーキテクト

田中 智之
早稲田大学
建築家・建築画家

山下 裕子
ひと･ネットワーククリエーター
広場ニスト

女鹿 裕介
プレイスメディア
ランドスケープアーキテクト

吉海 雄大
益城町地域づくり協力隊
ズトチデザイン

津久見市役所

森本 龍輝
まちづくり課

上薗 怜史
まちづくり課
まちづくりツクミツクリタイ

風景デザイン研究会講師

柴田 久
福岡大学
景観まちづくり研究室

星野 裕司
熊本大学
景観デザイン研究室

田中 尚人
熊本大学
地域風土計画研究室

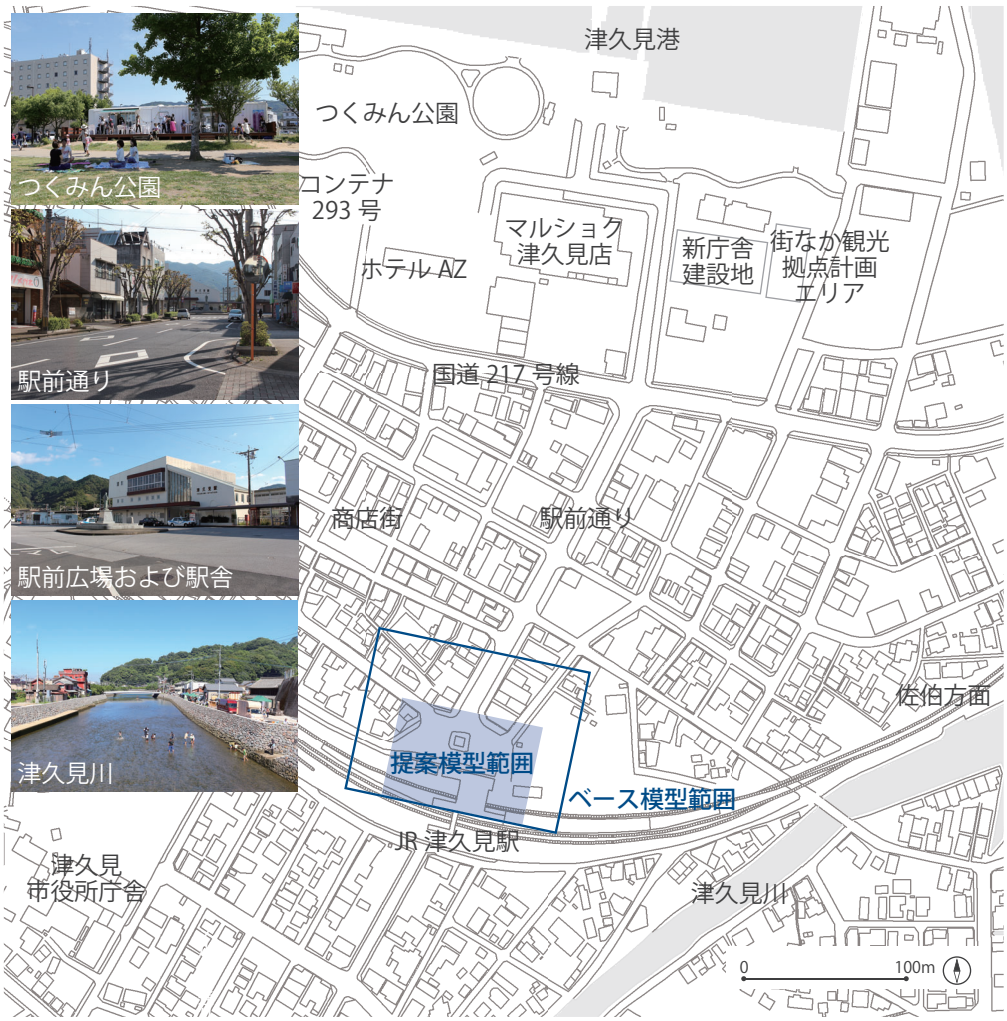
髙尾 忠志
地域力創造デザインセンター

石橋 知也
長崎大学
環境計画研究室

増山 晃太
風景工房

尾野 薫
宮崎大学
地域交流デザイン研究室

池田 隆太郎
福岡大学
景観まちづくり研究室



■対象地および演習課題

津久見市は、大分県の南東部に位置し、美しいリアス海岸に面する都市です。港にはセメント町という珍しい地区があり、山地部にはミカン栽培の段々畑や石灰岩地帯の鉱山といった独特な景観も見られます。同市では平成 29 年 9 月の台風第 18 号によって、市内を流れる津久見川等が氾濫し、多くの市民が甚大な被害を受けました。その後、津久見川に対する激特事業が実施され、治水機能の向上とともに石積み護岸や橋の架け替えなど、魅力ある水辺の創出が図られました。また港には大型遊具や芝生広場をもつ「つくみん公園」があり、市内外から多くの来訪者が集まる人気スポットとなっています。同公園と隣接する埋立地には、老朽化した市役所庁舎の移転が決定し、JR 津久見駅から港側に続く駅前通りを基軸に、周辺市街地やつくみん公園、上記埋立地とのつながりの強化が重要視されています。現在、津久見駅自体の魅力を高めようと、地元の高校生と連携しながら駅一階の旧手小荷物扱室のリニューアルを図る取り組みが企画され、さらに駅から約半径 1 ㎞以内を中心市街地と位置づけ、津久見駅周辺に「まちなかウォーカブル区域」を設定するなど、駅を中心としたまちの再生が目指されています。

以上のことから本演習では、上記駅前通りや周辺市街地とのつながりを視野に、駅を利用する地元高校生等との意見交換も踏まえながら、多世代の居場所となる魅力的な駅前広場のデザインについて提案することを課題とします。

■プログラム

	8/27（火）	8/28（水）	8/29（木）	8/30（金）
9:00	講評会の様子	レクチャー（柴田）	レクチャー（吉村）	提案模型・プレゼン準備（グループワーク）
10:00		コンセプトメイキング（グループワーク）	デザインスタディ 計画図・提案模型検討（グループワーク）	
11:00				
12:00	会場集合	昼　食	昼　食	昼　食
13:00	ガイダンス（柴田、津久見市）	レクチャー（星野）	レクチャー（田中智）	講師および 地域の関係者による 講評会
14:00	レクチャー（山下、田中尚）			
15:00	現地調査＆結果整理（講師による解説）（高校生を交えた グループワークを予定）	コンセプトメイキング デザインスタディ 対象地計画図検討（グループワーク）	デザインスタディ 提案模型検討（グループワーク）	
16:00			講師によるエスキス	
17:00				撤収作業
18:00	調査結果報告「空間とアクティビティ」		デザインスタディ 提案模型検討（グループワーク）	懇親会（有志）
19:00		講師によるエスキス		
20:00	懇親会			
21:00				